



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 ブルドックソース株式会社

コード番号 2804 URL <http://www.bulldog.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 章子

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長

(氏名) 佐藤 貢一

TEL 03-3668-6811

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,130	△8.4	224	△45.0	291	△39.0	190	△34.8
24年3月期第1四半期	4,510	5.2	408	34.5	477	26.5	292	23.3

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △29百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 239百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第1四半期	2.77	—
24年3月期第1四半期	4.23	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第1四半期	19,747	14,603	74.0	211.77
24年3月期	20,178	14,771	73.2	214.19

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 14,603百万円 24年3月期 14,771百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	1.50	—	2.00	3.50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	1.50	—	2.00	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	8,500	△1.0	450	△20.2	540	△14.7	300	△19.2	4.35
通期	16,900	1.2	900	△4.8	1,000	△8.9	500	△20.4	7.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示を参照してください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	69,774,401 株	24年3月期	69,774,401 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	812,739 株	24年3月期	811,825 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	68,962,196 株	24年3月期1Q	69,213,364 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページを参照してください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金制度の効果が内需を刺激し、緩やかな回復傾向が見られたものの、自動車関連産業をはじめとした製造業の生産拠点の海外流出や雇用情勢の厳しさから消費意欲が抑制されるなど、引き続き予断を許さない状況にありました。

食品業界におきましては、東京電力福島第1原発事故に伴う放射性物質に関連した食の安全に関する対応や春先の野菜価格の高騰等により消費者心理が冷え込み、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況の下、当社グループは、主力商品であるウスター・中濃・とんかつソースの価値を高め、より一層のお客様の需要の喚起を図ってまいりました。また、業務用商品においては中食・外食の新規顧客開拓等、売上拡大のための販売活動を積極的に展開するとともに、徹底した経営の合理化・効率化を推進してまいりました。

当社の家庭用商品につきましては、新しい調理方法として定着してきているシリコン容器を使って電子レンジで調理する専用ソースの「シリコンスチーマーで作る簡単 肉じゃがソース」「シリコンスチーマーで作る簡単 ポテトグラタンソース」「シリコンスチーマーで作る簡単 さばの味噌煮ソース」等新商品の販売活動とあわせて主力商品群を使った幅広い用途とメニューの積極的な提案活動を行ってまいりました。

また、6月には「ブルドック スーパープレミアムソース極」並びに「ブルドック 特級ウスターソース」「ブルドック 特級中濃ソース」「ブルドック 特級とんかつソース」の4商品がモンドセレクション金賞を3年連続で受賞し、当社の技術力と品質が国際的に高い評価を得るなど、売上拡大とともに品質の維持向上に努めてまいりました。

業務用商品では、お弁当や調理済パンなどの中食を中心とした業務用ユーザーに対し、惣菜メニューの提案を強化してまいりました。また、顧客ニーズに対応した商品の開発に意欲的に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高につきましては、震災の影響により需要が一時的に増加した前年同四半期と比較し、当期の販売数量は伸び悩み、対前年同四半期比3億7千9万円減少し、41億3千万円（前年同四半期比8.4%減）となりました。

営業利益におきましては、原材料・副資材コストの高止まり等から、対前年同四半期比1億8千3百万円減少し、2億2千4百万円（前年同四半期比45.0%減）、経常利益におきましては対前年同四半期比1億8千6百万円減少し、2億9千1百万円（前年同四半期比39.0%減）、四半期純利益におきましては、対前年同四半期比1億1百万円減少し、1億9千万円（前年同四半期比34.8%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億3千1百万円減少し、197億4千7百万円となりました。増減の主なものは、流動資産においては、受取手形及び売掛金が1億4千1百万円増加しましたが、現金及び預金が3億3千万円減少し、固定資産においては、投資有価証券が3億4千3百万円減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ2億6千4百万円減少し、51億4千3百万円となりました。増減の主なものは、その他に含まれる未払金2億9千1百万円の減少などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億6千7百万円減少し、146億3百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金2億2千万円の減少などによるものです。これにより自己資本比率は、74.0%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年4月27日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,658	2,327
受取手形及び売掛金	4,442	4,584
商品及び製品	443	563
原材料及び貯蔵品	84	92
仕掛品	27	29
繰延税金資産	211	211
その他	57	82
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	7,925	7,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,167	2,127
機械装置及び運搬具（純額）	1,147	1,085
土地	2,711	2,711
その他（純額）	62	63
有形固定資産合計	6,089	5,988
無形固定資産	57	54
投資その他の資産		
投資有価証券	5,486	5,142
繰延税金資産	79	132
その他	575	573
貸倒引当金	△35	△35
投資その他の資産合計	6,106	5,813
固定資産合計	12,253	11,855
資産合計	20,178	19,747

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,754	1,845
1年内返済予定の長期借入金	310	310
未払法人税等	21	27
未払費用	953	913
賞与引当金	189	94
その他	402	158
流動負債合計	3,631	3,350
固定負債		
長期借入金	780	780
退職給付引当金	810	823
長期未払金	166	166
その他	18	22
固定負債合計	1,775	1,792
負債合計	5,407	5,143
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	11,525	11,578
自己株式	△434	△434
株主資本合計	14,699	14,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71	△148
その他の包括利益累計額合計	71	△148
純資産合計	14,771	14,603
負債純資産合計	20,178	19,747

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,510	4,130
売上原価	2,057	1,974
売上総利益	2,452	2,155
販売費及び一般管理費	2,044	1,931
営業利益	408	224
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	76	73
その他	1	0
営業外収益合計	77	73
営業外費用		
支払利息	8	6
その他	0	0
営業外費用合計	8	7
経常利益	477	291
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	2	0
投資有価証券評価損	0	6
災害による損失	24	—
特別損失合計	27	6
税金等調整前四半期純利益	450	284
法人税、住民税及び事業税	157	93
法人税等合計	157	93
少数株主損益調整前四半期純利益	292	190
少数株主利益	—	—
四半期純利益	292	190



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	292	190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53	△220
その他の包括利益合計	△53	△220
四半期包括利益	239	△29
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	239	△29
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループは、ソース類の製造販売事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。